

航空工学研究で連携

静岡理工科大とエ社、ITA

川勝平太知事は九日、ブラジルの大手航空機メーカー「エンブラエル社」とブラジル航空技術大(ITA)、

航空工学コースがある静岡理工科大(袋井市)との研究連携に向け、県が協力する意向を示した。

知事は昨年十一月にブラジルのエ社で創業者のオジーレス・シルバ氏と会談し、エ社の技術者と静岡理工科大の研究者の協力関係を構築していくことで一致した。

九日はシルバ氏の代理として、シルバ氏が卒業したITAの後輩に当たる化学メーカー取締役に、日系二世の福山スタンリー氏が県庁を訪れ、知事と会談した。

知事と福山氏はエ社とITA、静岡理工科大の連携を強化していくことで合意し、静岡空港近くに航空機の研究と展示機能を兼ねた施設の建設を四者が協力して進める方針を確認した。

(本田英寛)



エンブラエル社の創業者の代理で川勝知事と会談した福山スタンリー氏(左)＝県庁で

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています